

第6回史跡めぐり

葛飾方面（南蔵院 水元公園 柴又帝釈天）

岡部 憲治

日 時 平成30年12月4日（火） 池袋駅集合 9時30分

参加者 12名（男性 5名 女性 8名）

当日は池袋に集合し、山手線、千代田線を乗り継ぎ金町駅へ、天候も前日までのぐずつuitた天候から絶好の外出日和となる。まず、駅北口より歩いて水元公園へ向かう途中にある「南蔵院」に立ち寄る。このお寺は在原業平ゆかりの古刹（こさつ）といわれ、元は墨田区吾妻橋付近にあったが震災により昭和の初めに当地に移転したもので、境内の敷砂利（しきじゃり）、参道等は隅田川の様子を表したものだそうです。また、大岡越前守の名裁きで有名な荒縄でぐるぐる巻きにされたお地蔵さま「しばられ地蔵」、樹齢450年といわれる老松、聖徳太子堂などがある。

ここから、徒歩で約15分歩くと水元公園に到着し昼食とする。水元公園は春の花菖蒲（100種、20万本）が有名であるが、かつては利根川の本流であった「小会溜（こあいだめ）」といわれる遊水地を中心に芝生広場、ポプラ並木やメタセコイアの森など広大な面積（TDIとほぼ面積が同じ）を持つ公園で、都内とは思えない素晴らしい景観であった。ここでは時間を忘れ1日のんびりすることが出来そうです。

その後、近くのバス停まで歩きバスで京成金町駅まで行く。京成金町駅から寅さんでおなじみの葛飾柴又へ電車で移動、改札口を出ると、寅さんと妹さくらさんの銅像に迎えられる。観光案内所の脇の店のお姉さんの元気な声を聞きながら柴又帝釈天（しばまたたいしゃくてん）の参道へ。ここからは自由散策とし、参道を通り帝釈天題経寺（だいきょうじ）へ向かう。平日ということもあり参道も人通りは少なく、境内もしずかであった。帰路は京成線で日暮里駅まで行き乗り換えて池袋駅まで戻る。

行 程

JR池袋駅 ⇒ 西日暮里駅（千代田線乗換）⇒ 金町駅北口（徒歩20分）

⇒ 南蔵院 見学40分（徒歩15分）⇒ 水元公園着

【 昼食・園内散策 90分 】

水元公園発（徒歩5分）⇒ バス停水元中学校（バス15分）⇒ 京成金町駅

京成金町駅（3分）⇒ 京成柴又駅 ⇒ 参道（徒歩15分）⇒ 帝釈天着

【 自由散策 60分 】

帝釈天発 ⇒ 参道経由 ⇒ 京成柴又駅 ⇒ 京成高砂駅乗換

⇒ 日暮里駅（乗換）⇒ JR池袋駅

池袋駅解散 16:00



南蔵院
しばられ地蔵尊

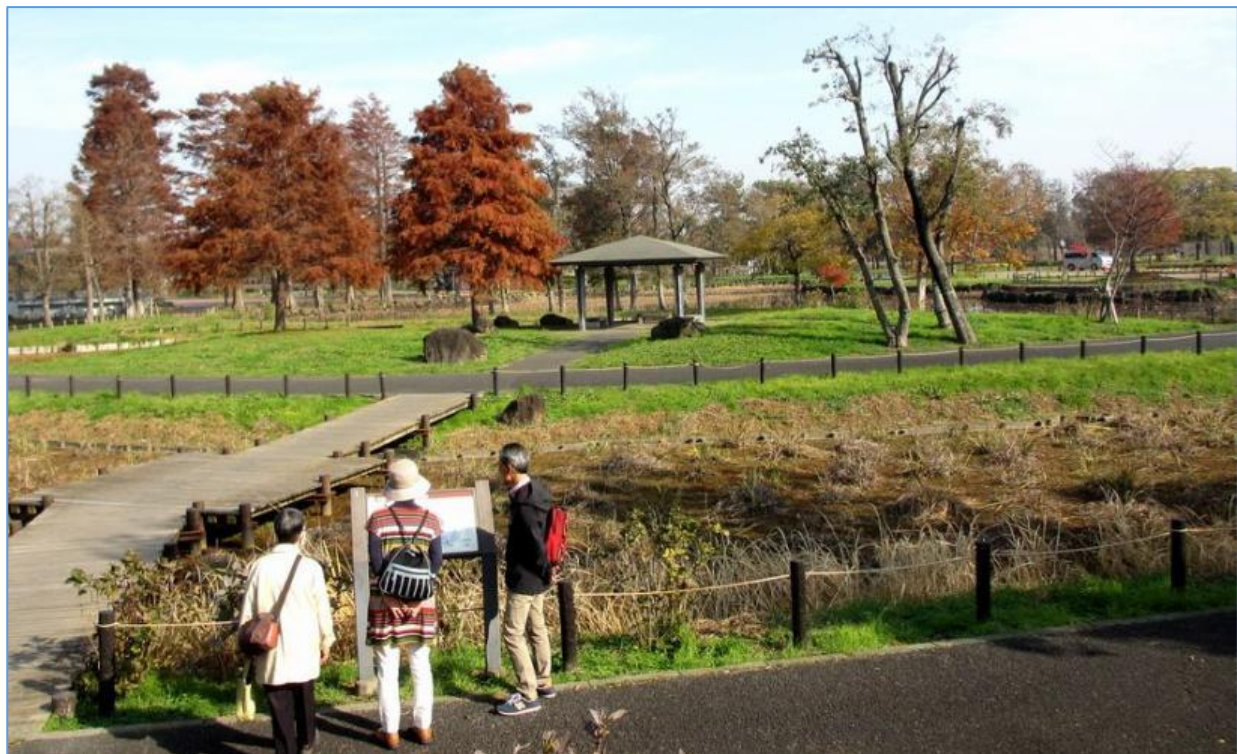


しばられ地蔵尊
像高約 1m の石地蔵
右側に願かけ縄





白御影の砂利は隅田川を表す。左の少し写っている黒い平たい石は業平の舟石

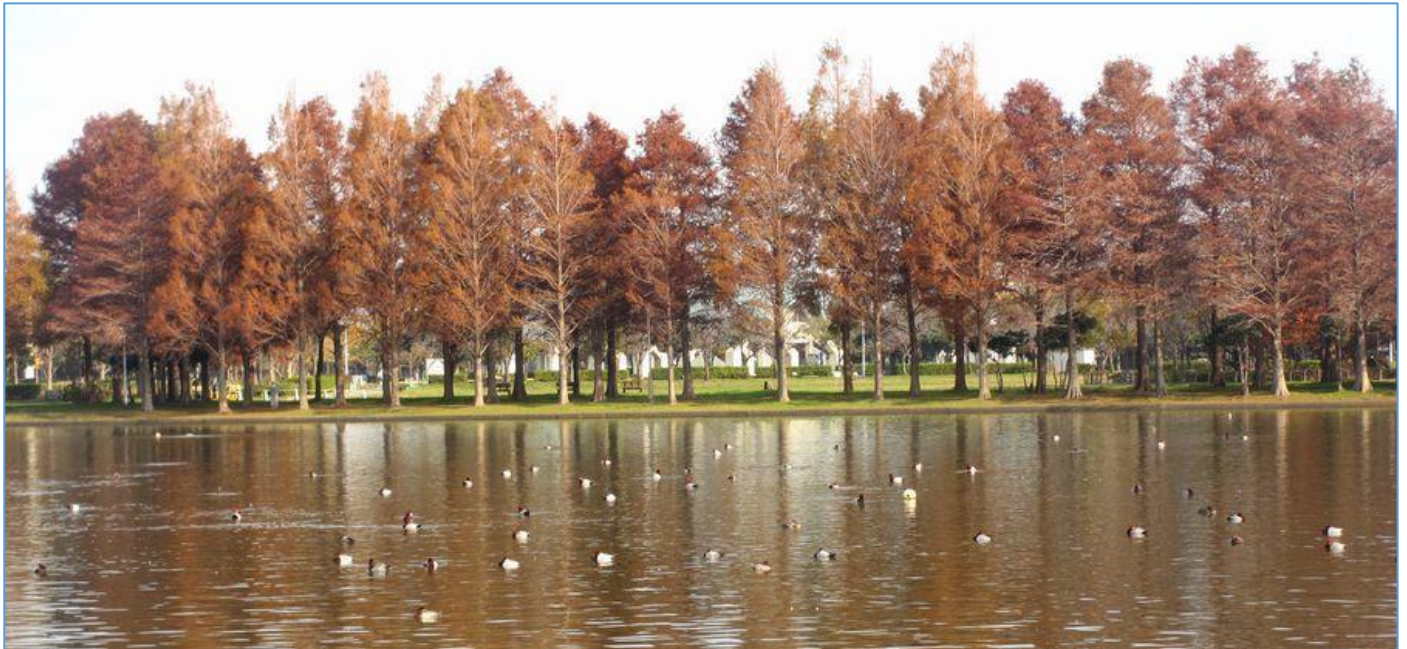


水元公園、園内の堀は春に花菖蒲が咲く（１００種、２０万本）



紅葉したメタセコイア

ポプラ並木と利用したそば&うどんレストラン「涼亭」



遊水池「小会溜（こあいだめ）」の対岸は埼玉県三郷市の「みさと公園」





京成金町駅前広場の寅さんと妹さくらさん



門前通りとその正面に立つ帝釈天（たいしゃくてん）題経寺（だいきょうじ）の二天門



帝釈堂

堂の周囲は法華経説話に取題した彫刻が巡らされている

